

第65回資産運用委員会議事要旨

1. 日時：平成29年9月29日（金）15：00～17：00
2. 場所：九段合同庁舎9F共用第一会議室
3. 参加者：神野委員長、臼杵委員長代理、小幡委員、菅原委員、
俊野委員、山崎委員

4. 議事要旨

- (1) 平成29年度四半期運用状況（8月末まで）、運用リスク管理の状況（平成29年度第1四半期）について

リスク資産の相関が高い傾向であることに対し、オルタナティブ資産の組入れ効果及び導入について、①分散効果の観点から積極的に導入すべきとの意見、②伝統的資産と異なる管理手法・体制の構築、高い手数料水準、非常時の流動性懸念、現在、国内債券資産が基本ポートフォリオに対し、オーバーウェイトとなっている状況等を勘案すれば、導入は慎重に検討したうえで行うべきとの意見があった。

- (2) 改訂日本版スチュワードシップ・コードへの対応について

「原則 5」に加えられた議決権行使の個別開示への対応については、①利益相反防止及び懸念の払拭に有効であり賛成とする意見、②アセットマネージャーに対して、運用の制約や新たなコスト負担を課すことになり、一方で、開示する効果は期待できず、強く反対するとの意見があり、その両論について議論の上、事務局案が了承された。

なお、日本版スチュワードシップ・コードの対応に当たっては、アセットオーナー（当会）のほか、アセットマネージャー、投資先企業においても新たな取り組みであること等を踏まえ、今後も本委員会において必要に応じ議論していくこととした。

また、アセットマネージャーと投資先企業とのエンゲージメントについては積極的にエンゲージメントを行い、株式市場全体（TOPIXベース）が底上げされることが重要であるとの意見があった。

以上